

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	し尿処理場管理運営費			
担 当 課 係 名	環境保全センター	課	監理	係 作成者 金谷頼輝
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち		
	基本計画	廃棄物の適正処理とリサイクル活動の推進		
	主要施策	処理施設の維持管理と機能向上		
予 算 費 目	一般	会計	4 款 衛生費	4 項 清掃費 3 目 環境保全センター費
事 業 期 間	平成	年度	～ 平成	年度 新規 / 継続の区分
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理			
根 拠 法 令 等	廃棄物処理法			
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市内全世帯から排出されたし尿及び浄化汚泥
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	適切に焼却。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	施設の維持管理業務を実施する。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

	項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	一日の受入可能量	kℓ	90	90
	成果指標	一日の受入実績量（平均）	kℓ	87	84
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		65,229	58,925	
	財源内訳	国 庫 支 出 金			
		県 支 出 金			
		地 方 債			
		そ の 他			
		一 般 財 源	65,229	58,925	
	人 件 費 (B)		2,055	1,055	
	職 員 数		3.15	1.79	
	職 員 平 均 人 件 費		7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト		67,284	59,980	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		747,600	666,444	
	市民1人当たりのコスト(円)		2,110	1,910	

【事務事業の今までの成果】

廃棄物処理法に基づいて適切に処理されている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	施設全体の機器の耐用年数超過などによる修繕。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	特になし

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	施設の機器の耐用年数超。新規施設建設中
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	し尿処理施設は、耐用年数を過ぎ老朽化しているが、し尿の処理が滞ることないよう施設の運用に適切に対処している。

一次評価診断図

